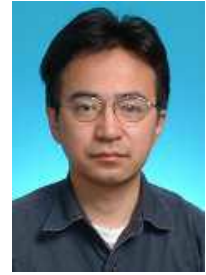


- 氏名：糸川道之 (PEN-0033)
- 専門科目：Mechanical Engineering
- 受験日：2009 年4 月26 日 受験地：東京



1. はじめに

2009 年4 月に東京で行われたPE 試験を受験し、2 度目のチャレンジで合格することができました。受験までの過程で努力したこと、そして合格できたことは大きな自信となりました。以下では、受験までの過程、勉強した内容と試験時の対応について記載します。

2. 受験までの過程

私の勤務している会社では産業機器用のスイッチを生産しています。私は入社してから14 年ほど設計の業務を担当しています。長年、設計業務を担当していたこともあり、数年前から技術に関係する資格に興味がありました。4 年ほど前に、「めざせ！PE/FE」という本を偶然に見つけ、PE について知りました。私は2 年ほど、欧州の拠点でスイッチの技術サポートをした経験もあり、また、元々、英語が好きであったため、グローバルに活躍できるPE に大きな魅力を感じました。そして、2006 年10 月に東京でFE 試験が行なわれると聞き、受験を決心しました。

FE 試験合格後、JSPE に入会し、入会時にいただいた「PE 試験受験TIPS」や関西分会主催のプロジェクトマネジメントの研修等を通じて、PE の方々からの情報やPE 試験合格体験を聞きPE 試験を受験してみようと思いました。

PE 試験受験を決心したのは2008 年4 月ごろで、それまでは受験する専門科目すらまだ決まっていませんでした。私の大学の専門は電気工学で、会社の業務では機械設計が中心となっており、最後まで電気を受験するか、機械を受験するか悩みました。結局、会社での機械設計の経験が長いことから、機械での受験を決心しました。

3. 勉強した内容と試験時の対応

まず、PE 試験がどんなものか知るためにリファレンスマニュアル（※1）を購入し、2007 年5 月ごろから内容を確認し始めました。本格的に勉強を始めたのは2008 年5 月からで、問題集（※2）の解法をノートに書いて問題の内容を理解しました。1 回目の試験（2008 年10 月）直前では、模擬問題集（※3）を解き、試験に備えました。

1 回目の試験は不合格となり、一時挫折しそうになりましたが、やる気を奮い立たせ、2009 年新年早々から受験勉強を再開しました。不合格の通知に同封されていた、科目別の正答率を元に対策を立てました。主に使用した教材は101 プロblems（※4）と機械工学の専門書（※5）で、内容を理解する上で大変役に立ったと思います。

次に、試験会場に持ち込んだ参考書と使用頻度を表1に示します。特によく使用したのはリファレンスマニュアルでした。また、先輩方の工夫を真似して、リファレンスマニュアルを小冊子に分割し、見出しを付けて、参照

しやすくしました（図 1 参照）。小冊子に分割したことで、試験問題毎に参考とする内容の確認が早くでき、試験問題を効率的に解くことができたと思います。

表 1 試験に持ち込んだ参考書と使用頻度

No.	参考書	使用頻度
1	リファレンスマニュアル(※1)	◎
2	機械工学の各種参考書(日本語)	○
3	機械工学の専門書(※5)	○
4	サブノート	×
5	FE 試験リファレンスハンドブック(※6)	○
6	英和辞典	○

記号の意味：◎常に使用、○特定の問題で使用、×使用せず



4. 感想

PE 試験の受験勉強に賞味1 年間かかりましたが、最後まであきらめないという気持ちが継続できて良かったと思います。また、勉強の終盤では選択科目の機械設計や工学経済で面白さを感じるようになりました。その他、良かった事、苦労したことは下記のとおりです。

(良かった事)

- ・ 工学経済(Economics)が少し好きになった
- ・ 実際の業務でも活用できる内容が多くあるということがわかってきた
- ・ PE 試験受験TIPS に記載されている先輩方の工夫やアドバイスは大変参考になった
- ・ 1 回目の試験結果から科目別に強化するところが分かり対策が立てやすかった

(苦労した点)

- ・ 米国の単位系（特にエネルギーの単位）は慣れるまでに苦労した
- ・ 経験が無かったFluids, Thermodynamics, Heat Transfer and HVAC は最後まで難解であった

5. 最後に

JSPE やJPEC 方々による東京での試験準備などのボランティア、PE 試験受験TIPS を通してのアドバイスがあったからこそ、合格できたと思います。PE 試験に合格でき、大きな自信をいただきました。本当にありがとうございました。また、今後、PE 試験を受験しようと思っている方へ、今回の経験から、合格のコツは「継続は力なり」だと思います。最後まであきらめないでがんばってほしいと思います。

以上、

(教材)

- ※1 Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam
- ※2 Practice Problems for the Mechanical Engineering PE Exam
- ※3 Mechanical Engineering Sample Questions & Solutions (NCEES)
- ※4 101 Solved Mechanical Engineering Problems
- ※5 McGraw-Hill series in Mechanical Engineering
- ※6 Fundamentals of Engineering Supplied-Reference Handbook__